

みんなの力で住民自治

シリーズ③「小さい自治と大きい自治」

現在、伊予市のほとんどの地域において、それぞれの地域の実情に応じた問題解決や要望の実現に取り組んでいます。話し合いの場が集落などの小さな範囲であったり、世帯の代表者又は役員のみによる決定であるなど、一部にとどまっている事例が多いと思われます。

もちろん、集落などの「小さい自治」の活動は大切であり、今後も継続すべきことですが、これからは、集落単位で解決できない大きな問題を『住民自治組織』という、「大きい自治」の中で取り組み、市民の一人ひとりが主役になってかわり、住み良い地域づくりのために参画していくことが必要です。

地域内の 問題・要望

集落内の問題・要望

自治活動の基本は、集落単位の活動です。集落内でできる活動は、今までどおり続けてください。

お互いを支え合い、住み良いまちを築いていくためには、集落単位の自治活動が今後いっそう重要な役割を果たすことになるでしょう。

地域全体の問題・要望

今後、過疎化や少子高齢化の進行による集落の再編、学校統廃合や近年中に起こると予想されている中南海地震による災害などの大きな問題が発生する恐れがあります。

地域全体の問題には、小学校区や広報区など大きな範囲で、できるだけ多くの人や団体がかかわり、取り組む方がより効率的で強力です。

集落(小さい自治)



世帯の代表者や役員

住民自治組織(大きい自治)

集落 公民館 老人会 子ども会
学校 事業所 PTA 消防団



地域に住んでいる人だけでなく、そこで働いている人や通学している人、事業を営む人など、市民一人ひとりがそれぞれの立場で参画

小さい自治も大きい自治も、 どちらも大切な自治活動です！